

「言葉」

今回は「言葉」というものについて少し考えたいと思います。「言葉」という漢字を見たときに、なぜ「葉」の文字が入っているのか知っていますか？

この「言葉」の始まりとされているのは、平安時代に紀貫之が執筆したと言われている「古今和歌集仮名序」です。そこには、次のような文章があります。

「やまとうたは、人の心を種として、万の言の葉とぞなれりける」

（和歌は、人の心を種として、葉のように生い茂っている言の葉である）

そして、この序文にはこう続きます。

「人は見たり聞いたりして思ったことを言葉として表現している。花の間で鳴いているうぐいすや、水に住んでいる蛙の声を聞けば、生きとし生けるもの、それぞれ歌を詠んでいる。力を入れずに天地を動かし、目に見えない死者の霊の心にも訴えかけ、男女の仲をなごませ、猛々しい武士の心も慰めるのは歌である。」

この世のすべてのものは言葉を持ち、その言葉には人の心をいやしたり、世の中を変えたりする力があるということです。このように「言葉」の持つ力、その良い面についてつづられています。

では、私たちが普段使っている言葉はどうでしょうか。相手を傷つけたり、責めたりする言葉が聞こえることはありませんか。「どうせ無理」「やっても無駄」とマイナスな言葉が聞こえることはありませんか。その一方で、相手を励ましたり、相手が前向きになる言葉はどのくらいありますか。全員が安心して学校生活を送ることができるためには、どんな言葉が必要なのでしょう。

さきほど述べたように、「言葉」には力があり、影響力があります。それは、良い影響を与えることもあれば、使い方によっては人を傷つけたり、悪い事態を招くこともあります。

明日からは期末試験です。試験が近づく中で、気持ちに余裕がなくなり、互いに心無いことを言ってしまうりはしていませんか。「どうせだめだ」「うまくいくはずがない」と、ネガティブな言葉がけではなく、「最後まで頑張ろう」「あきらめないで頑張ろう」と、前向きな言葉がけがあってほしいものです。（文責：鈴木）

今後の予定

月日曜	1 1 / 1 0 (月)	1 1 / 1 1 (火)	1 1 / 1 2 (水)	1 1 / 1 3 (木)	1 1 / 1 4 (金)
予定	全校朝礼		期末試験 ①国②英③技家	期末試験 ①数②社③美	期末試験 ①理②音③保体
月日曜	1 1 / 1 7 (月)	1 1 / 1 8 (火)	1 1 / 1 9 (水)	1 1 / 2 0 (木)	1 1 / 2 1 (金)
予定	心のアンケート	一斉委員会	職員会議		真中トライアル 3 時間授業 給食なし